

# 生鮮食品の原産地表示状況調査結果

北海道環境生活部くらし安全局消費者安全課

## 1 調査方法

- (1) 調査期間 令和3年5月1日～6月30日  
(2) 調査者 消費生活モニター  
(3) 対象品目 生鮮食品(肉類、野菜・果物、水産物)  
(4) 対象店舗 百貨店、総合スーパー(スーパーのうち、衣食住全般の商品を販売している店)、スーパー(主に食品のみを扱う店)、専門店  
(5) 調査店舗数 肉類/214店舗、野菜・果物/216店舗、水産物/212店舗  
(6) 調査内容 原産地表示の程度

## 2 調査結果

### (1) 原産地の表示状況

#### 【肉類】

調査を行った214店舗のうち、販売している肉類の全部に原産地を表示している店舗の割合は86.0%(184店舗)、ほとんどの店舗は14.0%(30店舗)であった。(合計で100%(214店舗))

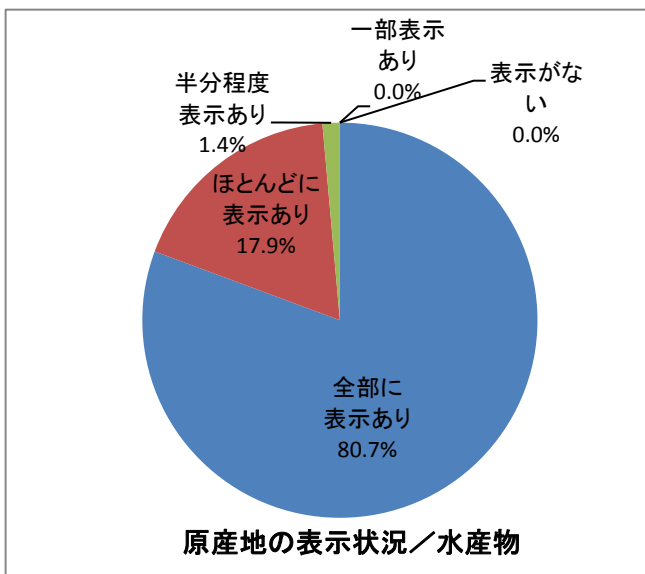
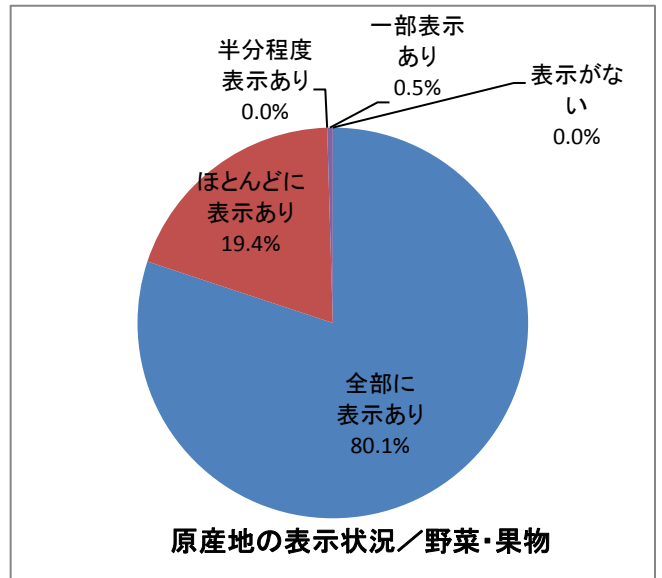
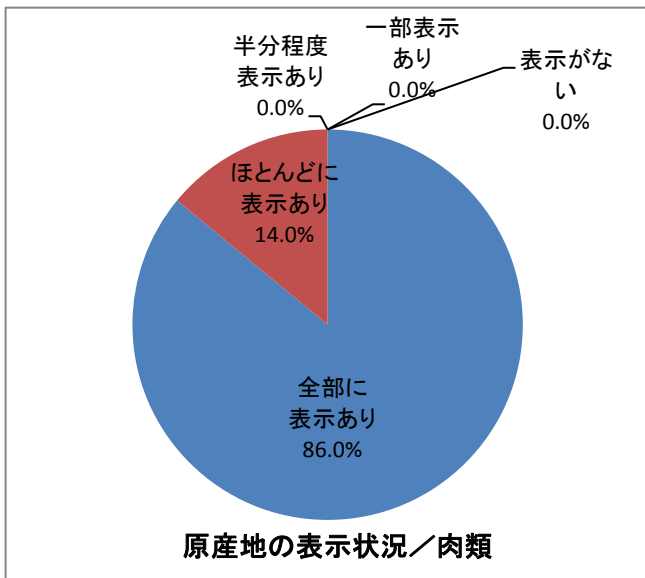
#### 【野菜・果物】

調査を行った216店舗のうち、販売している野菜・果物の全部に原産地を表示している店舗の割合は80.1%(173店舗)、ほとんどの店舗は19.4%(42店舗)であった。(合計で99.5%(215店舗))

#### 【水産物】

調査を行った212店舗のうち、販売している水産物の全部に原産地を表示している店舗の割合は80.7%(171店舗)、ほとんどの店舗は17.9%(38店舗)であった。(合計で98.6%(209店舗))

表示の程度	肉類		野菜・果物		水産物	
	店舗数	割合	店舗数	割合	店舗数	割合
全部に表示(100%)	184	86.0%	173	80.1%	171	80.7%
ほとんどの表示(80-99%)	30	14.0%	42	19.4%	38	17.9%
半分程度表示(40-79%)	0	0.0%	0	0.0%	3	1.4%
一部表示(1-39%)	0	0.0%	1	0.5%	0	0.0%
表示がない(0%)	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
合計	214	100.0%	216	100.0%	212	100.0%



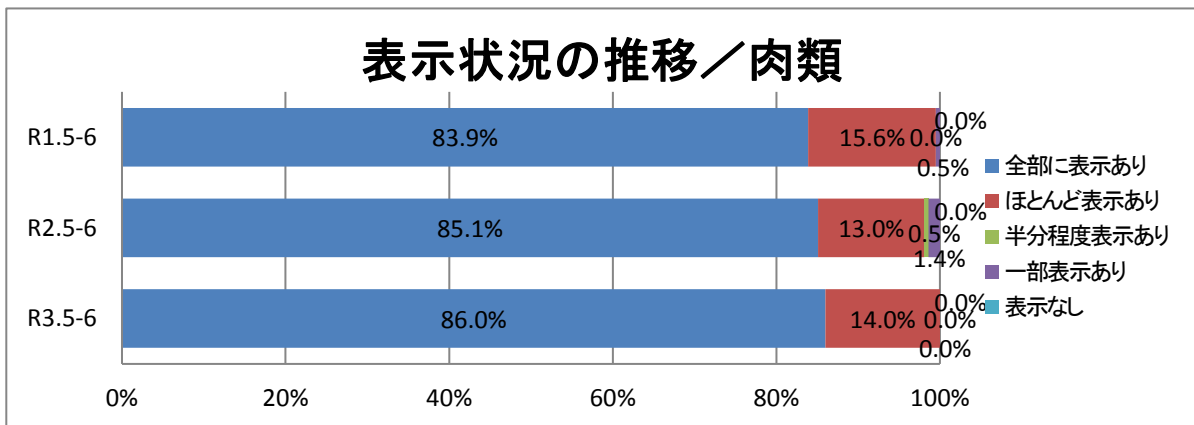
(2) 表示状況の推移(直近3カ年)

【肉類】

前回調査結果と比較すると、「全部に表示がある」は85.1%→86.0%と0.9ポイント増加し、「ほとんどに表示がある」は13.0%→14.0%と、1.0ポイント増加した。

表示の程度が8割以上(「全部表示あり」または「ほとんど表示あり」)の店舗は98.1%→100%と、1.9ポイント増加した。

表示の程度が4割以下(「一部表示あり」または「表示なし」)の店舗は1.4%→0.0%と、1.4ポイント減少した。

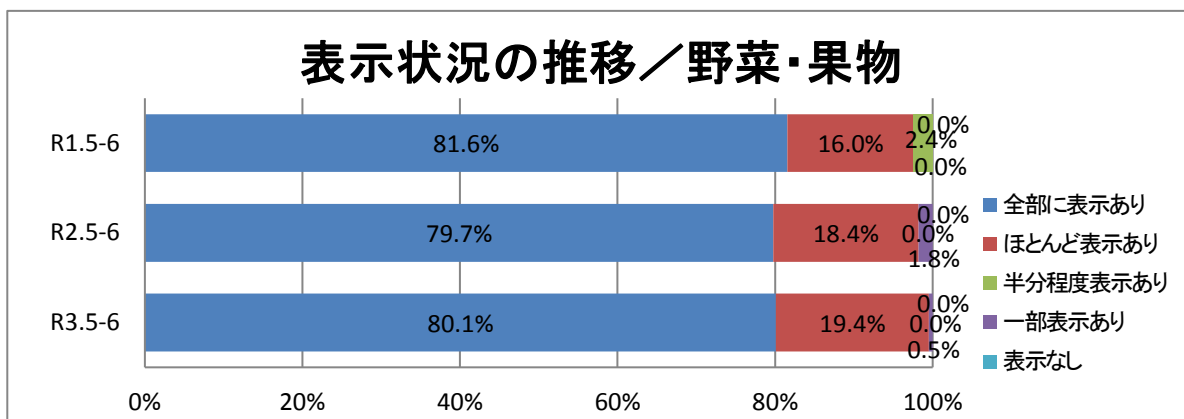


## 【 野菜・果物 】

前回調査結果と比較すると、「全部に表示がある」は79.7%→80.1%と、0.4ポイント増加し、「ほとんどに表示がある」は18.4%→19.4%と、1.0ポイント増加した。

表示の程度が8割以上（「全部表示あり」または「ほとんど表示あり」）の店舗は98.1%→99.5%と、1.4ポイント増加した。

表示の程度が4割以下（「一部表示あり」または「表示なし」）の店舗は1.8%→0.5%と、1.3ポイント減少した。



## 【 水産物 】

前回調査結果と比較すると、「全部に表示がある」は79.2%→80.7%と、1.5ポイント増加し、「ほとんどに表示がある」が18.4%→17.9%と、0.5ポイント減少した。

表示の程度が8割以上（「全部表示あり」または「ほとんど表示あり」）の店舗は97.6%→98.6%と、1.0ポイント増加した。

表示の程度が4割以下（「一部表示あり」または「表示なし」）の店舗は1.8%→0.0%と、1.8ポイント減少した。

